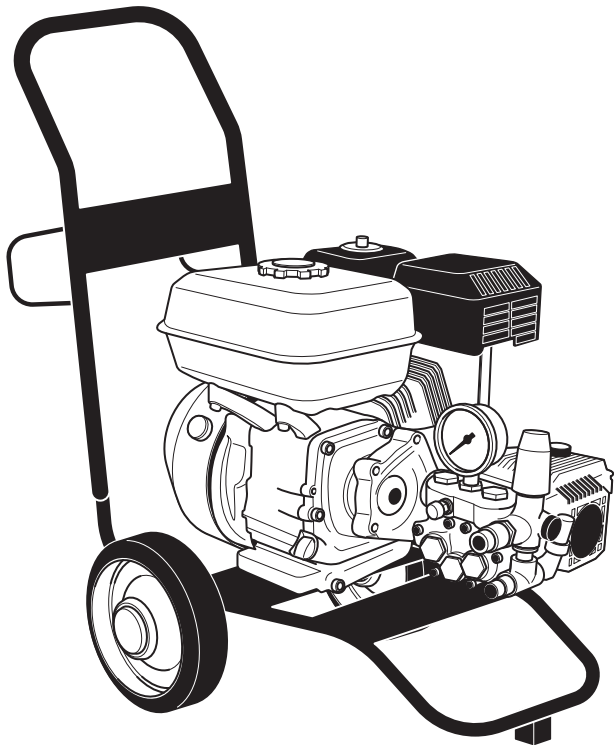


Asada

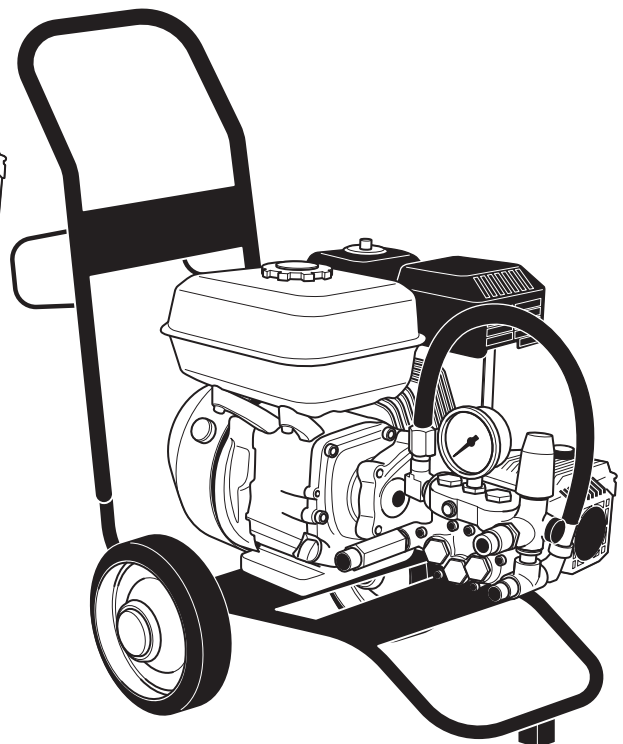
環境を守る親切ツール

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

取扱説明書



12/80G・GP・GA



13/150G・GA

【ご使用前に必ず本書をお読みください。】

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

安全にご使用いただくために

このたびは、高圧洗浄機 12/80G・GP・GA、13/150G・GA をお買い上げいただきましてありがとうございます。

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- ご使用前に必ず本書を最後までよく読み、確実に理解してください。
- 適切な取扱いで本機の性能を十分発揮させ、安全な作業をしてください。
- 本書は、お使いになる方がいつでも取り出せるところへ大切に保管してください。
- 本機を用途以外の目的で使用しないでください。
- 商品が届きましたら、ただちに次の項目を確認してください。
 - ・ ご注文の商品の仕様と違いはないか。
 - ・ 輸送中の事故等で破損・変形していないか。
 - ・ 付属品等に不足はないか。

万一不具合を発見された場合は、至急お買い上げの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。
(本書記載内容は、改良のため予告なしに変更することがあります。)

警告表示の分類

本書および本機に使用している警告表示は、次の2つのレベルに分類されます。



警告

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状態。



注意

本機に接触または接近する使用者・第三者等が、その取扱いを誤ったりその状況を回避しない場合、軽症または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状態。または、本機に損傷をもたらす状態。

目次

安全上のご注意	2	ガンの操作方法	22
製品の構成	7	洗浄作業	23
各部の名称	7	作業の終了	25
仕様	9	保守・点検	26
標準付属品	10	定期点検表	26
準備	11	エンジンの点検	27
使用環境	11	ポンプオイルの点検	27
ハンドルの組立	11	ストレーナおよびラインストレーナの点検	28
燃料の補給	12	ノズルの清掃	29
エンジンオイルの確認	13	洗管ホースのノズルの清掃	29
ポンプオイルの確認	14	その他の点検作業	30
カプラの接続方法	15	修理・サービスを依頼される前に	31
ホース類の接続	16		
ガンの接続	17		
洗管ホースの接続	18		
使用方法	19		
初めて使用する場合	19		
始動の方法	20		
圧力調整の方法	21		

安全上のご注意

- ここでは、本機を使用するにあたり注意していただきたい一般的な注意事項を示します。
- 作業要所での詳しい注意事項は、この後の各章で記載しています。

⚠ 警告：燃料を補給するときに

- ◆燃料補給などで燃料タンクのキャップを開ける時は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により引火する恐れがあります。
- ◆燃料の補給中、燃料タンクの近くではタバコを吸ったり、炎や火花などの火気を近づけないでください。
誤って引火しますと、爆発、火災の原因になります。
- ◆燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止して、エンジンを冷却させてから、換気の良い場所で行ってください。
- ◆燃料は、こぼさないように注意し、規定レベル以下で補給してください。
入れすぎると燃料が燃料給油キャップからにじみ出ることがあり、火災の恐れがあります。
もし、燃料がこぼれた時は乾いた布で完全に拭き取り、よく乾かしてからエンジンを始動してください。
- ◆燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ◆燃料タンクや送油管の接合部などから燃料漏れがないかよく確認してください。
燃料もれは引火する危険があります。

⚠ 警告：設置のときに

- ◆可燃性液体（シンナー等）やガスのある場所で使用しないでください。また、本機のまわりに引火物を置かないでください。
点火プラグ等のスパークが爆発や火災の原因になります。
- ◆本機は、酸素欠乏症や排気ガス中毒を防止するため、換気の良い場所に設置してください。
換気の悪い場所で使用しますと、酸欠で窒息する恐れがあります。
絶対に排気ガスを吸わないようにしてください。
やむを得ず屋内で使用する場合には、十分な換気が行われていることを必ず確認してください。
- ◆本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。
床面のしっかりした場所で、建物や設備から1 m以上離して使用してください。
- ◆本機の上に物を置かないでください。
エンジンは高温になりますので、本機の上に物を置くと危険です。
- ◆運搬時には、燃料タンク、気化器（キャブレタ）内の燃料を抜き取り、本機が転倒したり動いたりしないようしっかり固定してください。

⚠ 警告：お取り扱いについて

- ◆ **改造は絶対に行わないでください。**
異常な動作の原因となり、ケガや故障の原因となります。
- ◆ **本書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別販売品以外は使用しないでください。**
事故の原因となります。
- ◆ **エンジンに関する取り扱い方法は、付属のエンジンの取扱説明書にしたがってください。**
- ◆ **作業場所は整理・整頓し、いつもきれいな状態で十分な明るさを保ってください。**
作業環境が悪いと事故の原因になります。
- ◆ **目を保護するために、必ず保護メガネを着用してください。**
噴射水が砂や泥などと一緒に跳ね返ってくる場合があります。
- ◆ **関係者以外は、作業場所に近づけないでください。特にお子様には、十分注意し絶対に触らせないでください。**
- ◆ **疲労・飲酒・薬物等の影響で作業に集中できないときは、操作しないでください。**
- ◆ **エンジンの排気口をふさいだり、周辺に物を置かないようにしてください。**
火災の原因になります。
- ◆ **エアクリーナのエレメントは必ず取り付けて始動、運転してください。**
逆火により炎がふき出す恐れがあります。
- ◆ **薬剤（薬品）を混合して使用する場合は、ガソリン・シンナー等の有機溶剤や、強酸性溶剤・強アルカリ性溶剤の他、劇物・毒物などは絶対に使用しないでください。**
また、使用後は水道水を十分に通水し、薬剤が残らないようにしてください。
思わぬ事故を招く原因になります。
- ◆ **本機を落としたりぶつけた場合は、破損・亀裂・変形などがなければ点検してください。**
破損・亀裂・変形などがある状態で作業を行うと、ケガや事故の原因となります。
- ◆ **修理技術者以外は、保守点検に関する必要以上の分解をしないでください。**
- ◆ **ガンを絶対に人や動物、電気器具類に向けしないでください。**
誤って噴射すると大変危険です。
本機や他の電気器具、電源などに噴射すると、ショートしたり感電する恐れがあります。
- ◆ **硝子などの粉碎されやすい物に向けて噴射する場合は、十分注意して行ってください。**
対象物が粉碎、破壊されて危険です。
- ◆ **間違いなく取り扱うため、各部の操作に慣れ素早い停止方法を習得してください。**
- ◆ **本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。**

⚠ 警告：お取り扱いについて

- ◆ 結果の予測ができない、また確信の持てない取り扱いはしないでください。
- ◆ 本機を使用目的以外の用途には使用しないでください。
本機は一般洗浄作業に使用してください。装置や製造ラインに組み込み無人で使用することはできません。
- ◆ 噴射を停止してエンジンを切っても、ポンプ内や高圧ホースには残留した高圧水がありますので、一度トリガーを引いて内部の圧力を逃がしてください。
不意に、トリガーが引かれると高圧水が噴射して危険です。
- ◆ 本機を転倒させないように注意してください。
- ◆ 運転中および停止直後はマフラや、マフラカバー、エンジン本体およびその周辺は熱くなっていますので、手や肌が触れないようにしてください。
- ◆ 運転中は高圧線、点火プラグ、およびキャップ部に触れないでください。
感電、漏電の恐れがあります。
- ◆ 本機の周囲を囲ったり、箱をかぶせないでください。
エンジンが過熱し本機が損傷するばかりでなく、火災の恐れがあります。
- ◆ 機械本体を高圧洗浄しないでください。
- ◆ ガンの取り扱いには十分注意し、不意の噴射による事故防止に心がけてください。
- ◆ ガンのトリガーを引いたままの状態を固定しないでください。
不意に高圧水が噴射されると危険です。
- ◆ 高圧ホースを持って強く引っ張らないでください。
本機が転倒して、事故の原因になり危険です。
- ◆ ガン、ランスおよびホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- ◆ 本機から離れるときには、エンジンを停止して圧力を抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。
- ◆ 作業（負荷運転）をしたままの状態を急にエンジンを止めると、マフラ内で未燃ガソリンに着火し、爆発音がでたり炎が噴出する場合があります危険です。
しばらく無負荷運転（3分以上）してからエンジンを停止してください。
- ◆ 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。
- ◆ 本機に水や油などがかからないようにしてください。
かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- ◆ 機械の故障（ガンの故障やノズル詰りなど）で高圧ホースに非常に高い圧力を蓄圧している場合もありますので無理に接続金具を外さないでください。

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

⚠ 警告：お手入れの時に

- ◆ **部品交換・清掃・点検時は必ずエンジンを停止させ、熱部を冷却させてから行ってください。**
運転中や停止直後は、エンジン本体やマフラ等が大変高温になっています。
火傷をする恐れがありますので絶対に触れないでください。
- ◆ **オイルの補給後はディップスティックを確実に締めてください。**
熱いオイルが飛散する恐れがあります。

⚠ 警告：保管の時に

- ◆ **本機を操作しないときは、乾燥した場所で子供の手が届かない、又は鍵のかかる場所に保管してください。**
- ◆ **長期保管前には、タンク内の燃料を抜き取り、本機を火気や湿気のないところに保管してください。**
また、抜いた燃料は引火性があり、火災や爆発の恐れがあるので、所定の燃料タンクなどに入れ保管してください。
- ◆ **点検整備は、誤ってエンジンが始動しないように点火プラグキャップを外して行ってください。**
- ◆ **本機の保管時は、エンジンにカバーをかけ雨やほこりがかからないようにしてください。**
※運転時は、カバーを必ず外してください。

⚠ 注意：お取り扱いについて

- ◆ **工業用水や井戸水、泥水、海水、川水などは使用しないで、必ず水道水を使用してください。**
本機の能力低下や、ポンプの故障の原因となります。
- ◆ **水道水は、お湯を使用しないでください。**
本機使用の推奨温度は0℃～40℃です。吸水する水温は最高40℃までです。
- ◆ **作業前には、必ずガン・高圧ホース・洗管ホースなど各付属品を点検してください。**
これらの付属品に損傷があった場合、高圧水が噴出します。特に、洗管ホースに損傷があった場合、作業中に先端部が破損し、パイプ内に部品が残る場合があります。
- ◆ **冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯などで高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。**
無理に原動機を起動させますと故障の原因になります。
- ◆ **圧力の調整は、必ず所定の範囲内で行うようにしてください。**
上げ過ぎや下げ過ぎは故障の原因になります。
- ◆ **本機は水平を保ち、傾けないようにしてください。**
本機を傾けると、ガソリンが漏れや吸引不良を起こす可能性があります。
- ◆ **本書のP.26「保守・点検」に従い、各部の保守、点検を行ってください。**

⚠ 注意：お取り扱いについて

- ◆ リコイルスタータノブを引くときは、引っ張る方向に人や損害物がないか確認してから行ってください。
けがをする恐れがあります。
- ◆ ガンを噴射する時に高圧水による反動がありますので、両手でしっかり握ってください。
- ◆ 水道に直結して使用する場合は、地方自治体の水道法の法的規制を受ける場合がありますので、詳細については所轄の自治体にお尋ねください。
- ◆ 本機の異常（異臭・振動・異常音など）に気づいたときは、ただちに運転を停止し、本書のP.31「修理・サービスを依頼される前に」を参照してください。
また、むやみに分解せず点検や修理を依頼してください。
修理はお買い上げの販売店または、弊社営業所へお申しつけください。
- ◆ 運転中、ポンプより少量の水が漏れることがありますが、1分間に5滴程度までの水漏れは故障ではありません。
それ以上の水漏れが発生している場合には、販売店または、弊社へ連絡してください。
- ◆ 空運転は絶対にしないでください。
通常、始動後約10秒程度で吸水をします。それ以上（最大1分間）たっても吸水しない場合は異常です。
運転を中止して原因を調べてください。（P.31「修理・サービスを依頼される前に」を参照）
- ◆ 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- ◆ 高圧ホースを延長する場合は、仕様書の規格範囲内にしてください。
それ以上の延長をする場合は、販売店または弊社営業所まで相談してください。
- ◆ アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがあるため、修理はお受けできません。

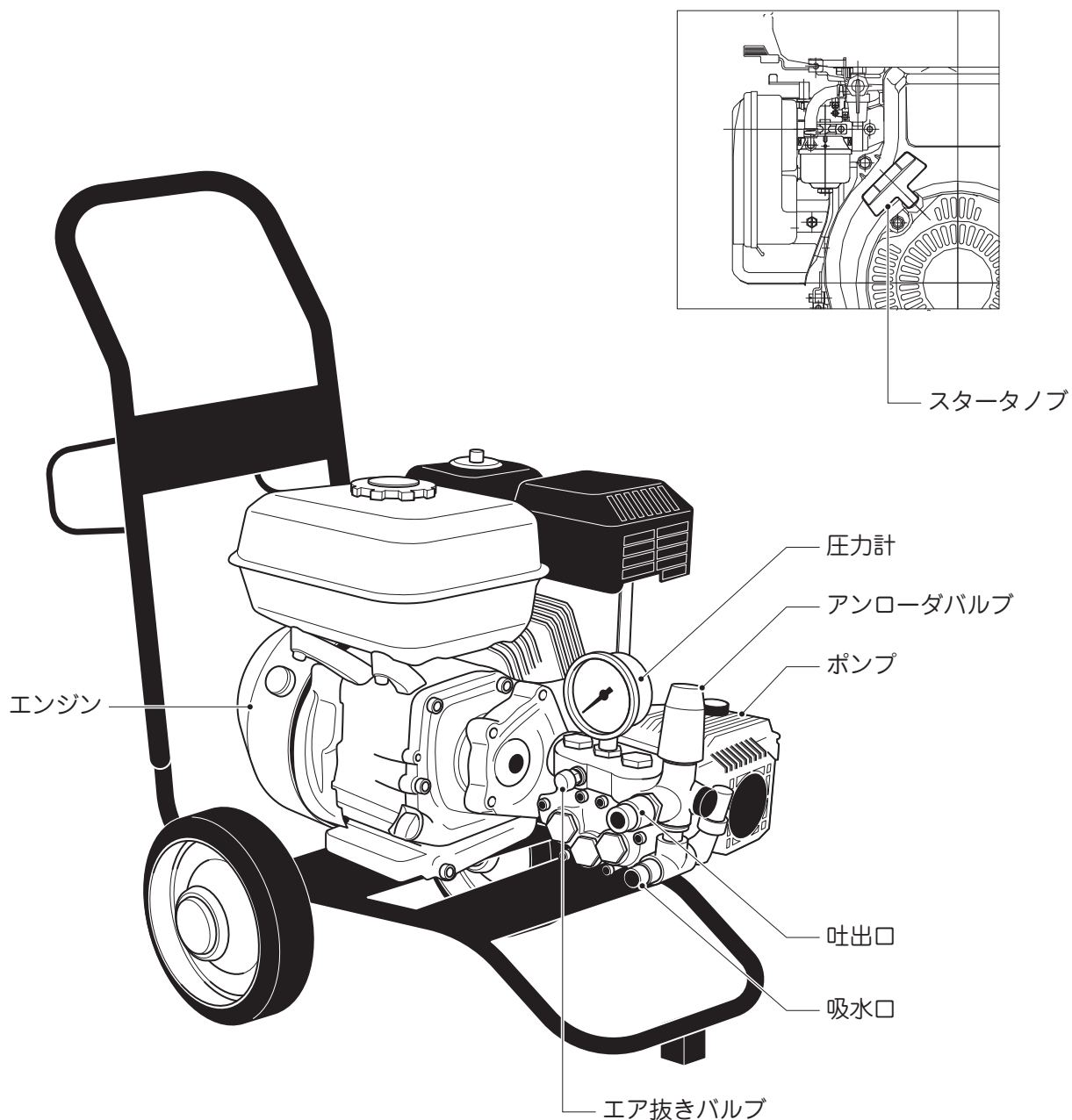
⚠ 注意：保管のときに

- ◆ 冬季など、凍結の恐れのある場合は必ず水抜き作業を行ってください。
ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。
- ◆ 0℃以下になる地域では、原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。
- ◆ 長期間（30日間以上）使用しない場合は燃料を完全に抜いて保管してください。
上記を実施せず保管しますとエンジンが始動しないことがあります。

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

製品の構成

各部の名称（高圧洗浄機 12/80G・GP・GA）

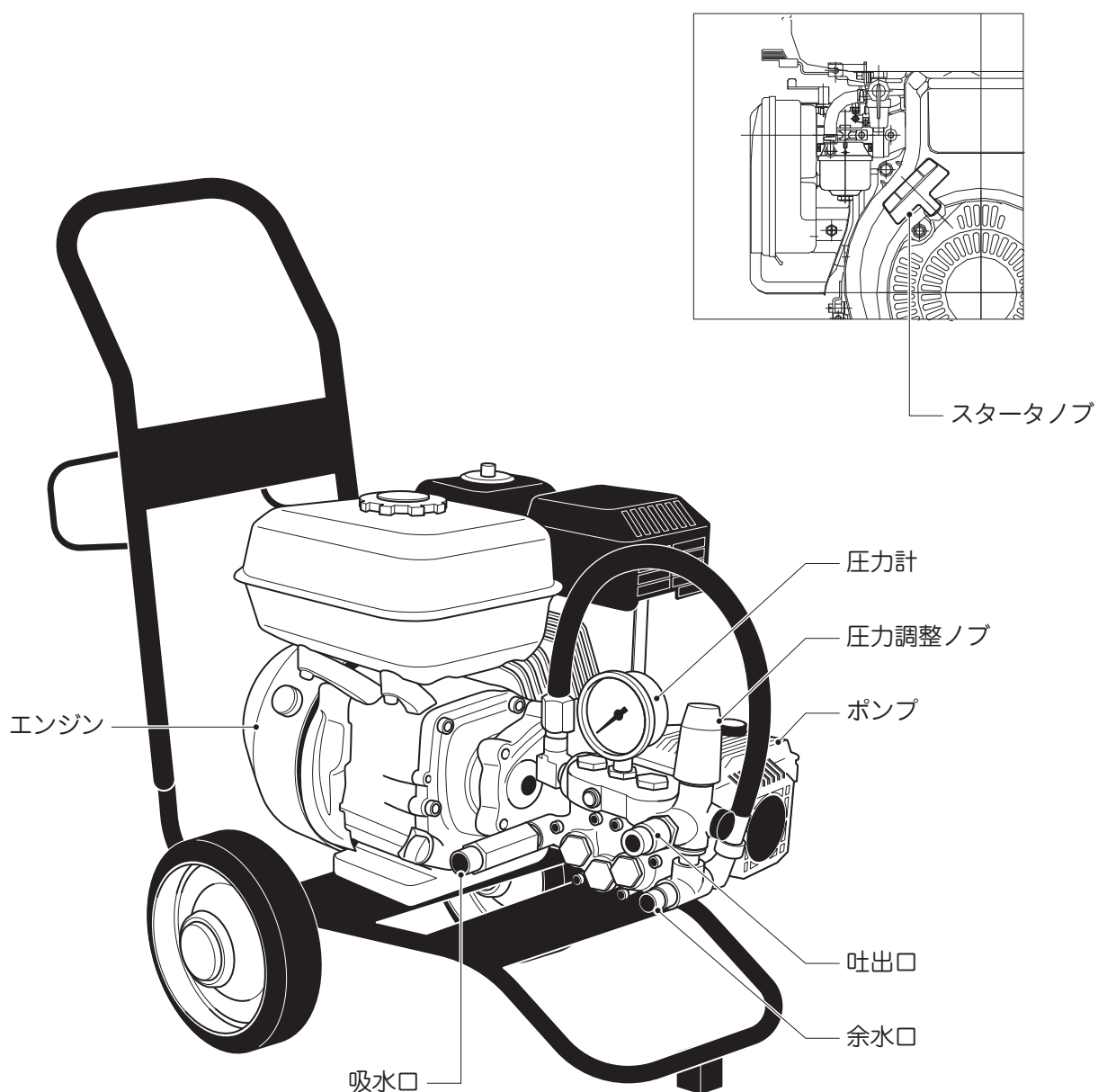


※ 本機には警告シールが貼付してあります。

安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたりみづらくなったりした場合は、本機をご購入頂いた販売店でお買い求めください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。

HIGH PRESSURE CLEANER 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

各部の名称（高圧洗浄機 13/150G・GA）



※ 本機には警告シールが貼付してあります。

安全確保のための説明が書かれていますので、きれいに保ち、はがれたりみづらくなったりした場合は、本機をご購入頂いた販売店でお買い求めください。そして必ず同じ場所に貼り直してください。

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA

13/150G・GA

仕 様

品 名		高圧洗浄機 12/80G	高圧洗浄機 12/80GP	高圧洗浄機 12/80GA
コード No.		HD1208G2	HD1208P2	HD1208GA
ポンプ	圧 力	7.8MPa		
	水 量	13L/min		
	吸い込み揚程	2 m		
	ポンプオイル	SAE10W-30		
	ポンプオイル量	約 0.4L		
エンジン	名 称	ホンダ GX200T2CHJA		
	形 式	空冷 4 サイクル傾斜形 OHV ガソリンエンジン		
	総排気量	196cc		
	定格出力	3.7kW (5.0PS)		
	最大出力	4.8kW (6.5PS)		
	始動方式	リコイルスタータ式		
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン		
	燃料タンク容量	3.1L (参考運転時間 約 2.2 時間)		
	エンジンオイル	SAE10W-30		
エンジンオイル量	約 0.6L			
高圧ホース最大延長		100 m		
大きさ		L694 × W460 × H703mm		
本体質量		28.9kg		

品 名		高圧洗浄機 13/150G	高圧洗浄機 13/150GA
コード No.		HD1315G2	HD1315GA
ポンプ	圧 力	14.7MPa	
	水 量	13L/min	
	吸い込み揚程	2 m	
	ポンプオイル	SAE10W-30	
	ポンプオイル量	約 0.4L	
エンジン	名 称	ホンダ GX200T2CHJA	
	形 式	空冷 4 サイクル傾斜形 OHV ガソリンエンジン	
	総排気量	196cc	
	定格出力	3.7kW (5.0PS)	
	最大出力	4.8kW (6.5PS)	
	始動方式	リコイルスタータ式	
	使用燃料	無鉛レギュラーガソリン	
	燃料タンク容量	3.1L (参考運転時間 約 1.5 時間)	
	エンジンオイル	SAE10W-30	
エンジンオイル量	約 0.6L		
高圧ホース最大延長		100 m	
大きさ		L694 × W460 × H703mm	
本体質量		29.4kg	

HIGH PRESSURE CLEANER 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

標準付属品

コードNo.	品名	高圧洗浄機 12/80G	高圧洗浄機 12/80GP	高圧洗浄機 12/80GA
		個数	個数	個数
HD03007	バリエブルガン	1	-	1
HD03151	洗管ホース用ハンドガン	-	1	-
HD03152	バリエブルノズル脱着式	-	1	-
HD03154	1/4"SUS洗管ホース	-	1	-
HD03236	1/4"PS洗管ホースねじ式20m	-	-	1
HD00152	1/4"逆噴射ノズルM型	-	-	1
HD03002	3/8"高圧ホース10m	1	1	1
HD213	1/2"吸水ホース組	1	1	1
-	取扱説明書	1	1	1
-	エンジン取扱説明書	1	1	1
-	工具一式	1	1	1

コードNo.	品名	高圧洗浄機 13/150G	高圧洗浄機 13/150GA
		個数	個数
HD10034	バリエブルガン	1	1
HD03236	1/4"PS洗管ホースねじ式20m	-	1
HD38121	1/4"逆噴射ノズルM型	-	1
HD03003	3/8"高圧ホース20m	1	1
HD20173	1/2"吸水・3/8"余水ホース組	1	1
-	取扱説明書	1	1
-	エンジン取扱説明書	1	1
-	工具一式	1	1

高压洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

準備

使用環境

⚠ 警告

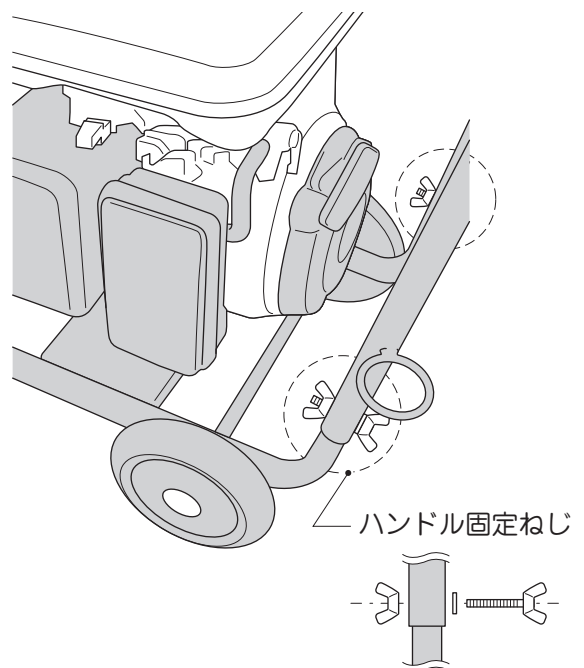
- ◆ 本機は排気ガスを出します。
密閉された部屋では使用せず、換気の良い場所で使用してください。
また、やむを得ず屋内で使用するには吸排気口（吸排気ファン）を取り付けてください。
- ◆ ガソリンやガスなどの可燃物が存在する付近では使用しないでください。
- ◆ 本機の運転は、床面のしっかりした水平な場所で建物や設備からは1m以上離して設置し、使用してください。
洗浄機が傾いたり、移動したりする他、まわりが過熱されたときに危険です。

次の使用環境を十分考慮して、「ハンドルの組立」・「燃料の補給」・「ホース類の接続」を行ってください。

- 直射日光が当たる場所、雨中、内部に水が入りやすい場所では使用しないでください。
- 本機を設置して使用する場合には保守・点検が容易に行える場所に設置してください。
- 使用する燃料は、新鮮な自動車用レギュラーガソリン以外は絶対に使用しないでください。
- 各ホース類や接続部に異常がないことを確認してから運転するようにしてください。
- 有毒ガスが発生する場所等には設置しないようにしてください。
- キャスタに回り止めなどの処置を実施し、不意の移動がないようにしてください。
- 本機は重量物です。人力での上げ下げや吊金具での運搬は行わないでください。

ハンドルの組立

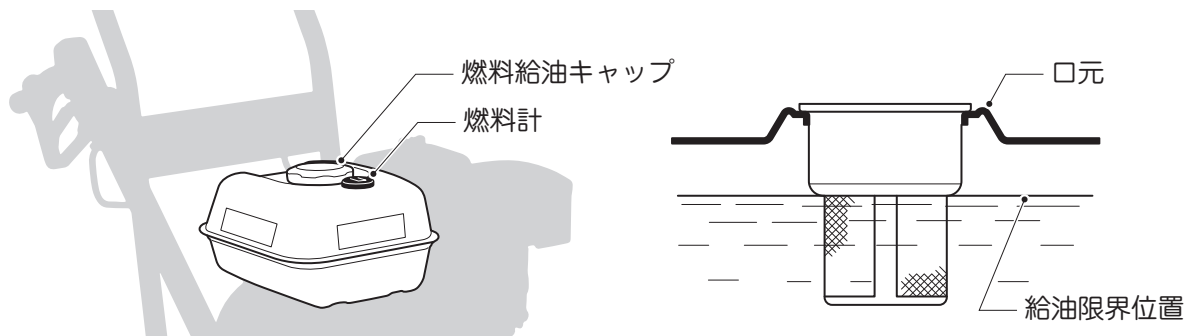
- ① 台車のハンドル取り付け部にハンドルを差し込んでください。
- ② ハンドル固定ねじで確実に固定してください。
固定が緩いと、エンジンの振動でハンドル固定ねじがはずれます。



燃料の補給

⚠ 警告

- ◆ 燃料を補給するときは、必ずエンジンを停止し、エンジンを冷却してから換気の良い場所で行ってください。
- ◆ 入れすぎは危険ですので、給油限界位置よりやや控えめに入れてください。
ガソリンを入れすぎると運搬時の振動・衝撃により、タンクキャップより燃料が漏れだします。
これは、燃料キャップが燃料タンクの内圧を下げる構造になっているため、不良ではありません。



- ◆ 燃料の補給は、火気のない状態で行ってください。
ガソリンの補給中は、付近でタバコを吸っている人がいるなどの火気がないことを確認してください。
引火し、火災・爆発をおこす恐れがあり危険です。
- ◆ ガソリンの補給後は、タンクキャップを確実に締めてください。
漏れたガソリンに引火し、火災・爆発をおこす恐れがあり危険です。

- 本機を購入した直後は燃料タンクに燃料が入っていません。
エンジン取扱説明書にしたがって、ガソリンを補給してください。
- 燃料は新鮮な自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- 万一燃料が周囲にこぼれてしまった場合は、必ず拭きとってください。

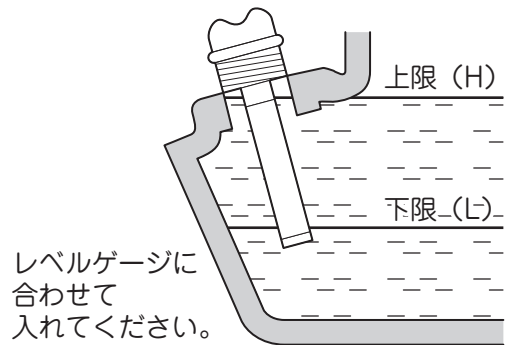
高压洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

エンジンオイルの確認

⚠ 注意

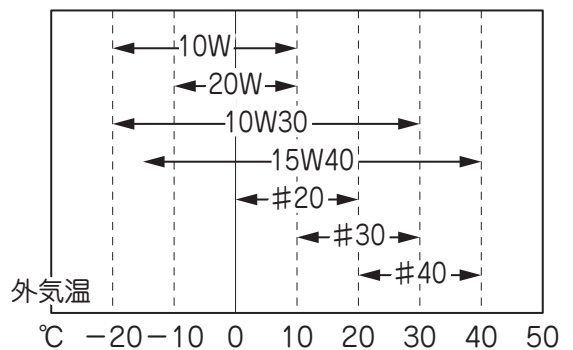
- ◆ 指定以外のオイルを使用したり交換を怠ったりしますと、エンジンやポンプの寿命を縮める恐れがあります。
- ◆ エンジンオイル量の点検はレベルゲージを補油（注入）口に当てて、ねじ込まないで調べます。
- ◆ 本機を傾けた状態でオイルを入れると規定量よりも多く入ったり、逆に少なかったりします。オイルを入れすぎるとオイルの消費が多くなったり、オイルの温度が上がり有害です。オイルが少ないと焼き付くことがあります。

- 本機のエンジンオイルは、出荷時に給油されています。初めて運転する場合には、念のためオイルレベルゲージでポンプオイルが適正量給油されていることを確認してください。
 - エンジンオイルが不足している場合は、レベルゲージの下限と上限の間で補給してください。
 - また、エンジンオイルが汚れたり白濁化している場合は、交換してください。
- ※ エンジンの詳しい取扱は、エンジン取扱説明書をご確認ください。



- 出荷時に給油されているエンジンオイルは SAE10W-30 クラス品です。
(エンジンオイル量：約 0.6L)
このエンジンオイルは、低温時（気温が -20℃）から高温時（気温が 40℃）まで広範囲で使用できますが、特に低温・高温地域でご使用の場合には、右図を参照してエンジンオイルを選定してください。
- 確認後は、ディップスティックをしっかりと閉めてください。

潤滑油粘度表 (SAE 分類)



ポンプオイルの確認

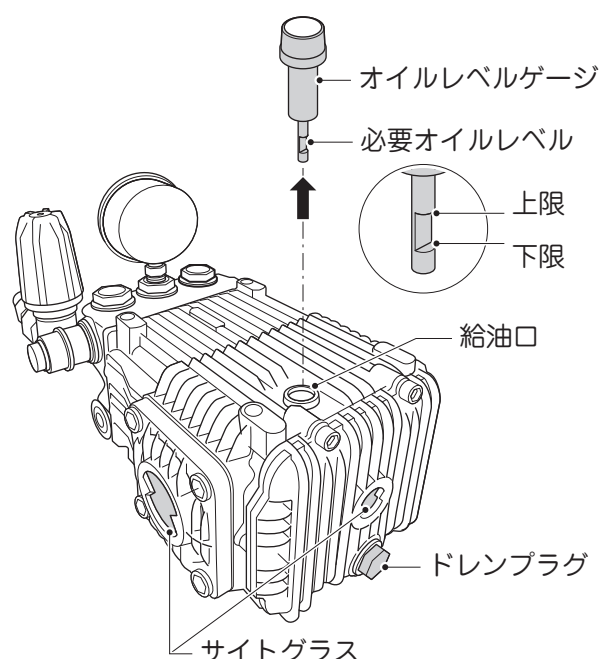
⚠ 注意

- ◆ 指定以外のオイルを使用したり交換を怠ったりしますと、エンジンやポンプの寿命を縮める恐れがあります。
- ◆ ポンプオイル量の点検はレベルゲージを補油口にねじ込んで調べます。
- ◆ 本機を傾けた状態でオイルを入れると規定量よりも多く入ったり、逆に少なかったりします。オイルを入れすぎるとオイルの消費が多くなったり、オイルの温度が上がり有害です。オイルが少ないと焼き付くことがあります。

- 本機のポンプオイルは、出荷時給油されています。

初めて運転する場合には、念のためオイルレベルゲージでポンプオイルが適正量給油されていることを確認してください。

- ポンプオイルが不足している場合は、レベルゲージの下限と上限の間で補給してください。
- また、ポンプオイルが汚れたり白濁化している場合は交換してください。

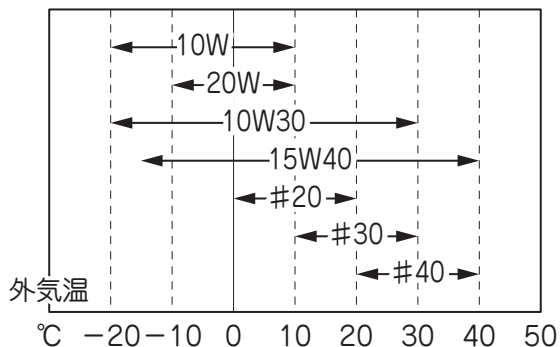


- 出荷時に給油されているポンプオイルはエンジンオイルと同じ SAE10W-30 クラス品です。
(ポンプオイル量：約 0.4L)

補充・交換される場合は [潤滑油粘度表 (SAE 分類)] にしたがって、最適なエンジンオイルを選定してください。

- 確認後は、ディップスティックをしっかりと閉めてください。

潤滑油粘度表 (SAE 分類)



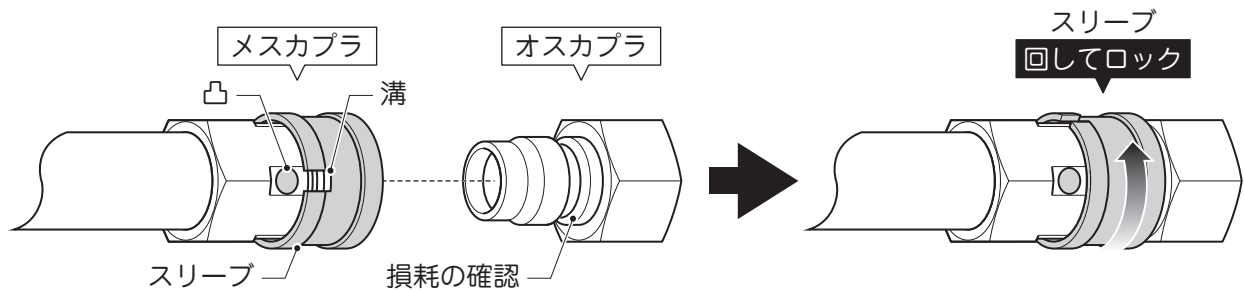
高压洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

カプラの接続方法

⚠ 警告

- ◆ スリーブを回し、必ずロックを実施してください。
不意に接続がはずれた場合、けがをする恐れがあります。
- ◆ 接続時に、カプラに破損や損傷がないことを確認してください。
特に、オスカプラのくびれ部分が損耗しているときは、カプラを交換してください。
カプラに損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、カプラが外れて高圧水が噴出し危険です。

- ① メスカプラの溝と凸部分を合わせてスリーブを引き、オスカプラに挿入し、スリーブを戻します。
- ② スリーブを回し、カプラをロックしてください。

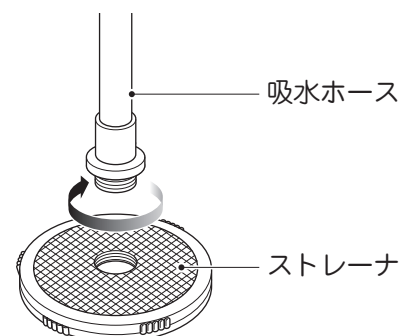


ホース類の接続

⚠ 注意

- ◆ 工業用水や井戸水、泥水、海水、川水などは使用せず、必ず水道水を使用してください。
ポンプの故障やストレーナの詰まりの原因となります。
- ◆ ホースの接続前に接続口周辺に砂などの異物が付着していないか確認してください。
砂などの異物が付着したまま接続すると、ノズル穴の詰まりの原因となります。
- ◆ 接続時に、各金具に取り付けられているパッキン類に損傷がないことを確認してください。
パッキン類に損傷がある場合、能力が発揮されないだけでなく、高圧水が噴出して危険です。

- ① 吸水ホースをストレーナと接続してください。

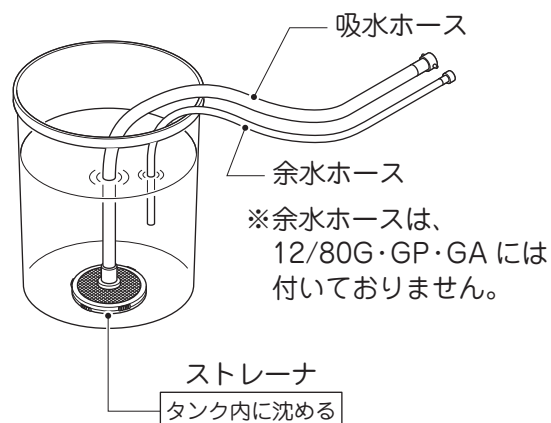


HIGH PRESSURE CLEANER 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

- ② ストレーナは、完全にタンク内に沈めて、空気を吸わせないようにしてください。

空気を吸ってしまうと、十分な能力が発揮されません。

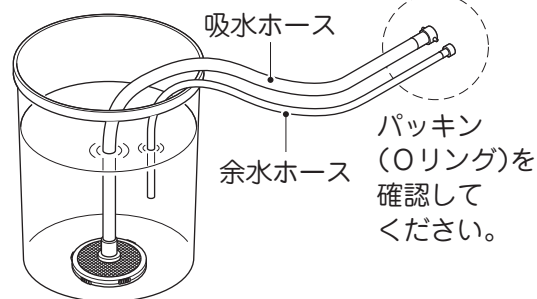
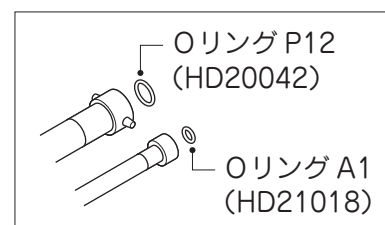
また、本機と水面が2m以上離れますと給水しくなくなります。



- ③ 給水と余水ホース金具に O リングが入っていることを確認してください。

また、O リングに傷や亀裂がないことを確認してください。

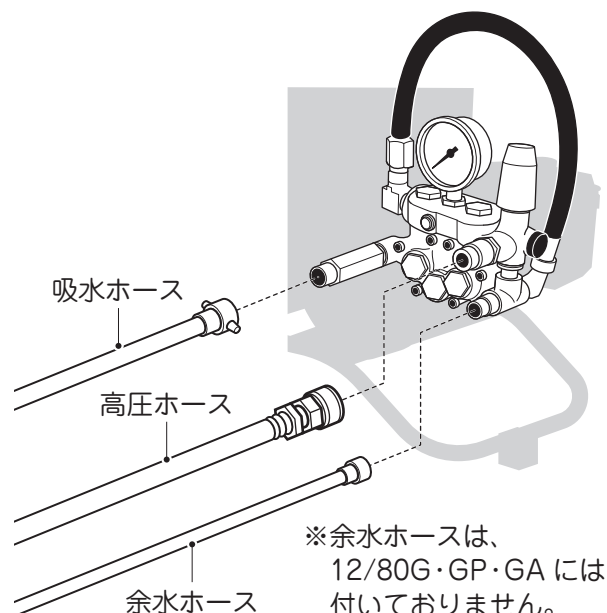
O リングが入っていなかったり、O リングに傷や亀裂があると、空気を吸ってしまい吸水しませんが。



- ④ 本体の吸水口に吸水ホースを、余水口に余水ホースを接続してください。

本体の吐出口に高圧ホースを差し込み SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。

(P.15「カプラの接続方法」を参照)

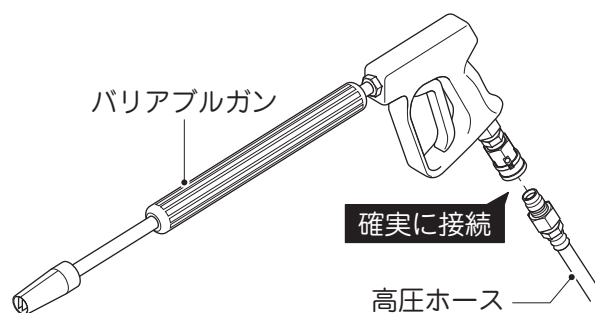


高压洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

ガンの接続

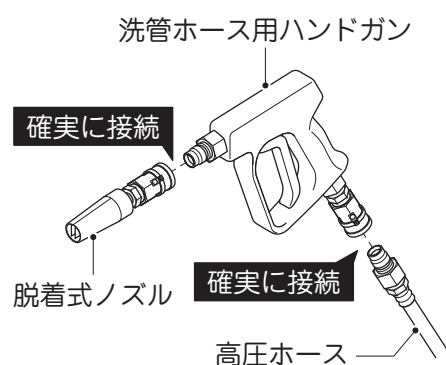
- バリアブルガンの場合 (12/80G・GA、13/150G・GA)

- ① バリアブルガンに高压ホースを差し込み、SUS ワタチカプラを確実に接続してください。
(P15「カプラの接続方法」を参照してください。)



- 洗管ホース用ハンドガン・バリアブルノズル脱着式の場合 (12/80GP)

- ① 洗管ホース用ハンドガンに脱着式ノズルを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。
- ② 洗管用ハンドガンに高压ホースを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。



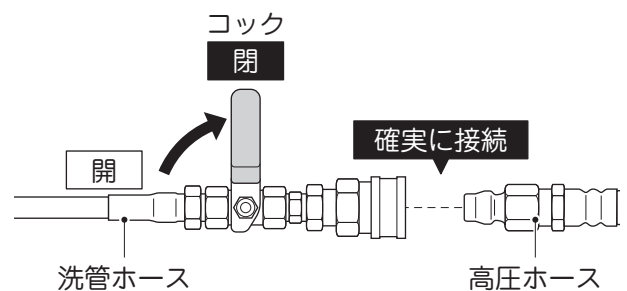
洗管ホースの接続

⚠ 注意

- ◆ 1/4" 洗管ホースコック有は、必ず高圧ホースに接続してください。
ポンプの吐出口へ直接に接続しますと、アンローダバルブが破損します。
- ◆ 洗管ホースのコックを閉じてください。
エンジン始動時に高圧水が噴射され危険です。

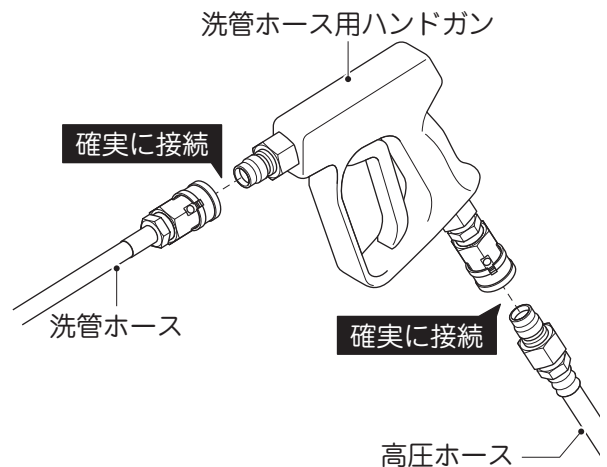
● 1/4" 洗管ホースコック有の場合 (12/80GA・13/150GA)

- ① 洗管ホースのコックを閉じてください。
エンジン始動時に高圧水が噴射され危険です。
- ② 洗管ホースに高圧ホースを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。



● 1/4" 洗管ホースコック無の場合 (12/80GP)

- ① 洗管ホース用ハンドガンに高圧ホースを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。
- ② 洗管ホースコック無しに洗管用ハンドガンを差し込み、SUS ワンタッチカプラを確実に接続してください。



使用方法

初めて使用する場合

- 新しいうちは各部がなじんでいませんので、無理な使い方をするとう洗浄機の寿命を短くします。運転開始後約 20 時間までは慣らし運転期間として次のことを守ってください。
 - ① 始動後、約 2 ～ 3 分間はエンジンが温まるまで暖機運転を行ってください。
 - ② 慣らし運転期間は、エンジンに無理な負荷がかからないようにし、過負荷運転はさけてください。
 - ③ 運転開始後約 20 時間目のエンジンが暖かいうちに、第 1 回目のエンジンオイル交換を行ってください。
- ※ エンジンオイル交換はエンジンが暖かいうちに行わないと古いオイルが完全に排出されません。
- ④ その後のオイル交換は約 50 時間ごとに行ってください。

始動の方法

⚠ 注意

- ◆ 必ず吸水し続け、ポンプをドライの状態では運転しないようにしてください。
- ◆ 5分間以上噴射を停止する場合はエンジンを停止してください。
この時、高圧ホース内に圧力水が残っています。
必ず噴射ガンのトリガーを握る、洗管ホースのコックをゆっくり開ける等して、圧力水を抜いてください。
- ◆ 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯などで高圧ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。
無理に原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。

① エンジンの始動方法は、エンジンの取扱説明書にしたがってください。

② エア抜きバルブを開いた状態にして、エンジンを始動させてください。エア抜きバルブを閉じた状態で始動しますとエンジンのリコイルスタータの始動ノブが重く、エンジンが始動しない場合があります。

※ 13/150Gには自動エア抜き装置が装備されていますので、エア抜きバルブの操作は、必要ありません。

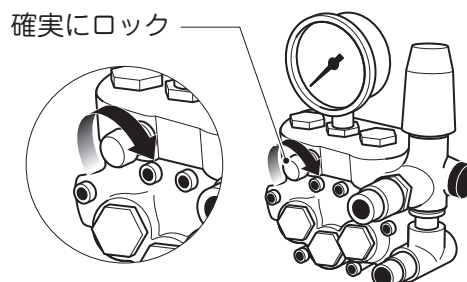
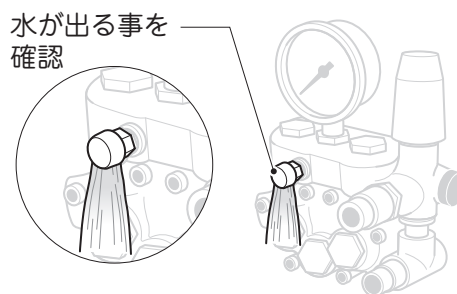
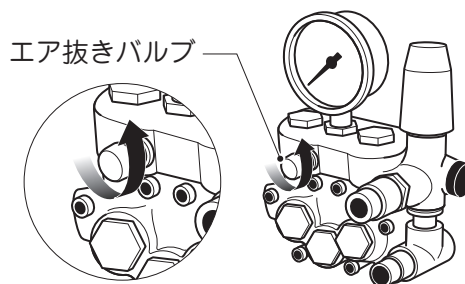
④ エンジンが始動したら、エア抜きバルブから水が流れ出るのを確認してください。

※ 水が安定して出ることでポンプ内のエアが抜けたこととなります。

⑤ ポンプのエア抜きバルブを時計方向に回し確実に締めてください。

※ 始動作業が完了し、洗浄作業が行える状態です。

⑥ エンジンが始動したら、暖機運転（約2～3分間）を行った後、エンジンのスロットルレバーを高速側にしてください。



圧力調整の方法

⚠ 警告

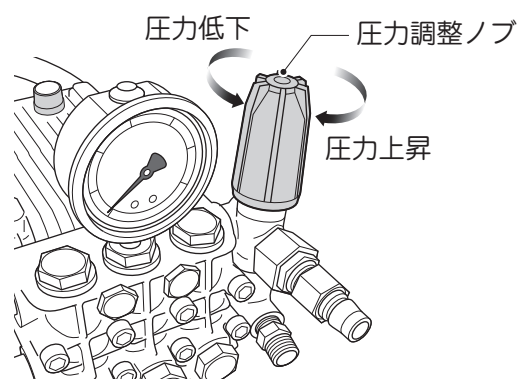
- ◆ 規定圧力以上に上げないでください。規定圧力はP.9「仕様」を参照ください。
ポンプ、高圧ホースなどの破損につながり、破損した破片や高圧水でけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

- ◆ 圧力は、出荷時に調整して最高吐出圧力になっています。
- ◆ 圧力調整を行った後は、必ず付属の圧力計で圧力の確認を実施してください。
規定外の圧力で運転を行うと洗浄機が故障するばかりでなく、事故につながる恐れがあります。

- ① 圧力を上げるには、圧力調整ノブを時計方向に回し、
圧力を下げるには反時計方向に回してください。

圧力を下げすぎますと、圧力調整ノブが抜けますので
注意してください。
- ② エンジンのスロットルレバーを低速側に戻すことによ
り、吐出水量を減らして圧力を下げることも可能です。

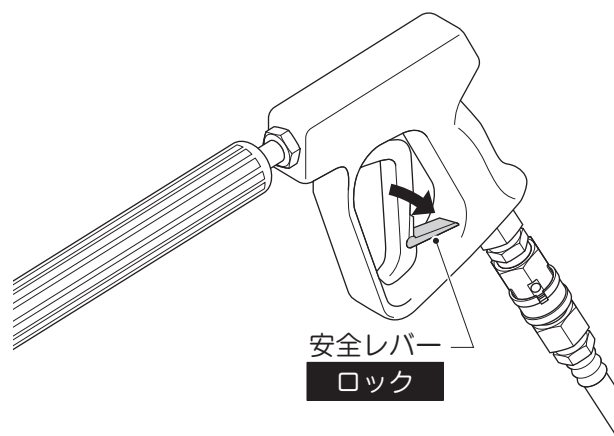


ガンの操作方法

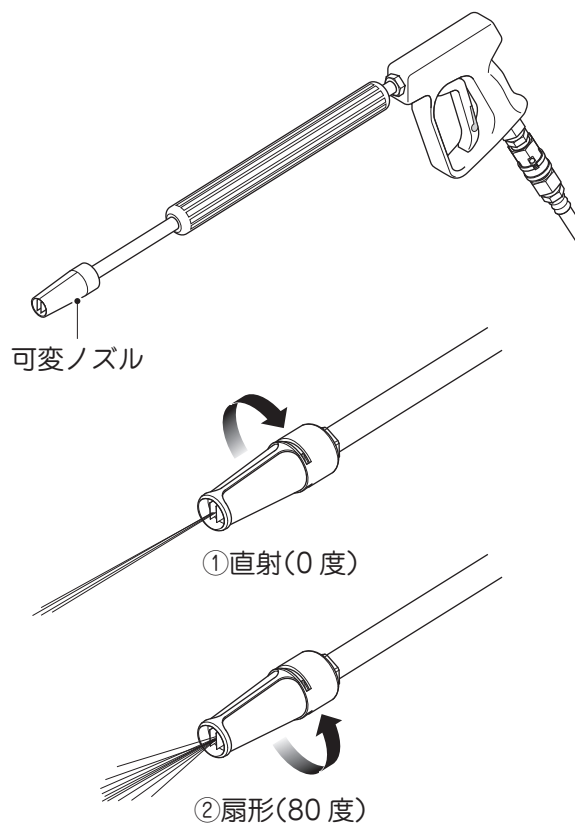
警告

- ◆ ノズル先端をのぞき込まないでください。
不意の噴射で失明する恐れがあります。

- ① トリガーを握ると水が噴射します。
- ② 作業や運転を一時中断する場合は、トリガーを離し危険防止のため、必ずロックしてください。



- ③ 可変ノズルは、①直射（0度）から②扇形（80度）の範囲で自由に使用することができます。

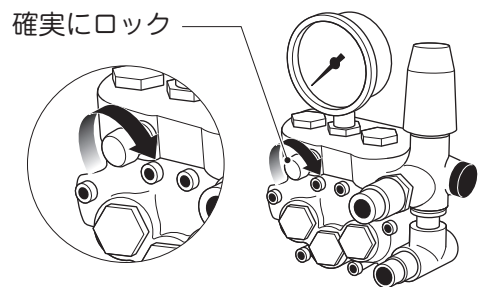
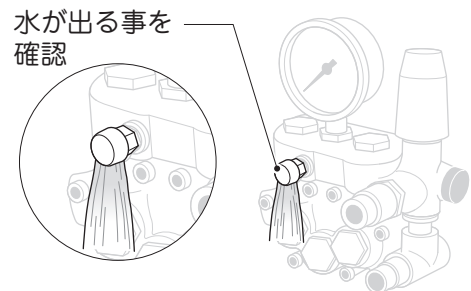
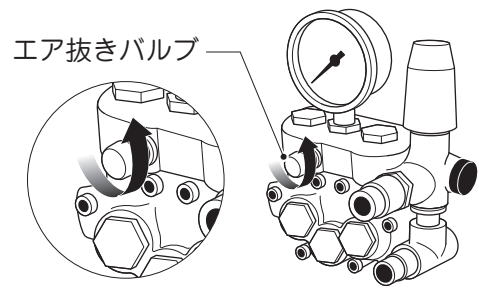


高压洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

洗浄作業

- ① エンジンが始動しましたら、エア抜きバルブから水が安定して出ていることを確認した後、エア抜きバルブをしっかり閉じて、暖気運転を2～3分行ってください。その際ポンプやガンなどの接続部から水漏れがないことを確認してください。

※ 13/150G・GAには自動エア抜き装置が装備されていますので、エア抜き作業は必要ありません。

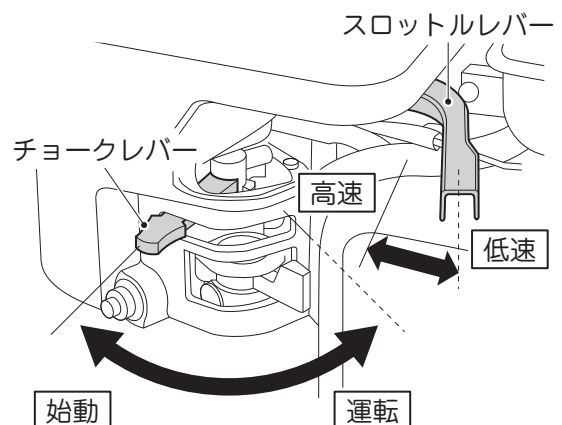


- ② エンジンのスロットルレバーを高速側にしてください。

- ③ ガンをしっかり持ち、対象物に向けてトリガーを引き噴射してください。

※ 噴射が安定するまでしばらく放水してください。安定したら洗浄作業が可能です。

- ④ 対象物に合わせて、ガンの噴射角度は調整してください。また、必要に応じて圧力調整をおこなってください。



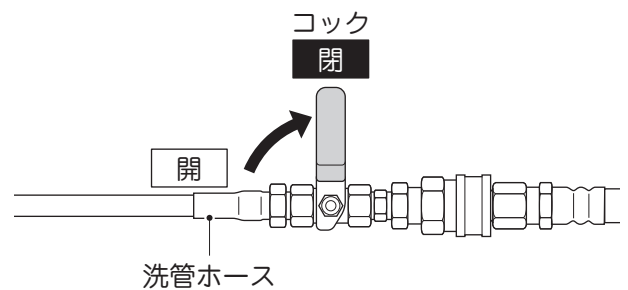
洗浄作業

⚠ 注意

- ◆ 1/4" 洗管ホースコック有は、必ず高圧ホースに接続してください。
ポンプの吐出口へ直接に接続しますと、アンローダバルブが破損します。
- ◆ 洗管ホースを引き戻す際、エルボなどの継手に引っかかることがあります。無理に引っ張らないでください。
無理に引っ張ると先端のノズルなどが外れることがあります。
引っかった場合は、再度前進後退を繰り返し、慎重に引き戻してください。
外れてしまったノズル等が配管内に残る可能性があります。

● 1/4" 洗管ホースコック有の場合 (12/80GA・13/150GA)

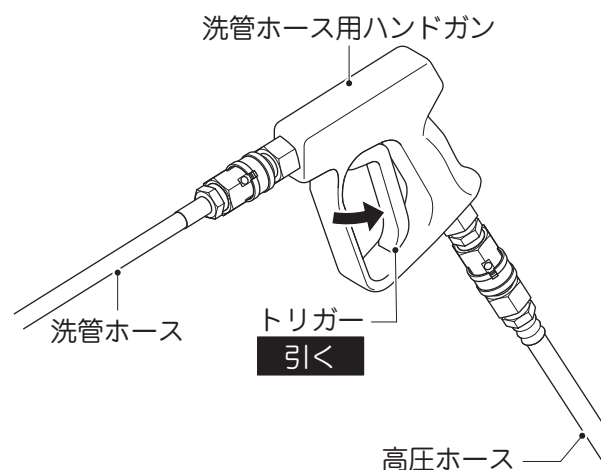
- ① コックを閉じておきます。
コックは、レバーとホースが垂直の位置で全閉となり、平行の位置で全開になります。
- ② 洗管ホース先端を洗浄対象のパイプの中へ 1m 以上挿入します。
- ③ エンジンを始動し、洗管ホースをしっかりと保持します。
- ④ コックを開き、洗浄作業を開始します。



● 1/4" 洗管ホースコック無の場合 (12/80GP)

- ① 洗管ホース先端を洗浄対象のパイプの中へ 1m 以上挿入します。
- ② エンジンを始動し、1/4" 洗管ホース用ハンドガンと洗管ホースをしっかりと保持します。
- ③ ハンドガンのトリガーを引くことで、洗管作業を開始します。

※ 洗管ホースは保持を緩めると水圧によって自ら進んでいきますが、引き戻したりして前進後退を繰り返すことによって、洗浄効率がより高くなります。



作業の終了

⚠ 警告

- ◆ エンジンの運転中や停止直後は、エンジン本体やマフラなどが大変高温になっています。移動や収納の際に触れないようにしてください。火傷をする恐れがありますので、絶対に触れないでください。本機の上に物を載せないでください。
- ◆ 噴射後エンジンを停止しても高圧ホース内に高圧水が残っていますので、トリガーを引いて残圧を抜いてください。不意にトリガーが引かれた際、高圧水が噴射され危険です。残圧が残っていると機械が始動しないことがあります。

⚠ 注意

- ◆ 洗浄作業中はエンジンを停止しないでください。必ず、1～2分程度の無負荷運転を実施してから、エンジンを停止させてください。作業中にエンジンを停止させますと、急激にエンジンの温度が上昇し、本機の寿命が短くなります。
- ◆ 吸水しないでポンプを運転する空運転は1分以上行わないでください。ポンプが破損する恐れがあります。
- ◆ 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜き作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。0℃以下になる地域では原動機を始動させて高圧ポンプ及び配管ほか付属品に不凍液を吸水させて保管してください。

- ① 作業が終わりましたらトリガーを放し噴射を停止してください。
 - ② 1～2分程度、無負荷で低速運転させたのちエンジンを停止してください。
 - ③ タンクから吸水ホースとストレーナを取り出してください。
 - ④ 一度ガンのトリガーを引いて、高圧ホース内の圧力を逃がし、ガンを取り外してください。
 - ⑤ 再度エンジンをかけ、低速状態での空運転を実施してください。
- ※ ポンプ内、ホース内の水が排出されます。
- ※ 空運転は1分以上行わないでください。
- ⑥ 水の排出が完了したら速やかにエンジンを停止してください。
 - ⑦ ポンプから高圧ホース、吸水ホースを取り外してください。

保守・点検

定期点検表

⚠ 警告

- ◆ 作業終了直後に保守・点検を行わないでください。
ポンプ、エンジン共に高温になっており火傷をします。
- ◆ 修理技術者以外は保守点検に関する必要以上の分解をしないでください。

高圧洗浄機をいつも調子よく使い、長持ちさせるためには日常の手入れが大切となります。

点検時間は次ページの定期点検表にしたがって励行してください。

●印は技術や特殊工具が必要ですので、お買い上げの販売店や弊社営業所に問い合わせください。

定期点検表

項目	運転時間	毎日	20 時間ごと	50 時間ごと	100 時間ごと	200 時間ごと	500 時間ごと
各部ボルトナットの点検・締め付け		○					● ※ 3
エンジンオイルの点検・補充		○					
エンジンオイルの交換			○ ※ 1	○ ※ 2			
ポンプオイルの点検・補充		○					
ポンプオイルの交換				○ ※ 1		○ ※ 2	
油漏れの点検		○					
エアクリーナの清掃			○ 50 時間ごと (ホコリの多い場所で運転する場合は、早めに清掃する)				
点火プラグの点検・清掃				○		○	
気化器の点検・清掃						○	●
吸排気弁隙間調整						● 300 時間ごと	

※ 1：第 1 回目 ※ 2：第 2 回目 ※ 3：ヘッドボルト増し締め

高圧洗浄機 12/80G・GP・GA 13/150G・GA

エンジンの点検

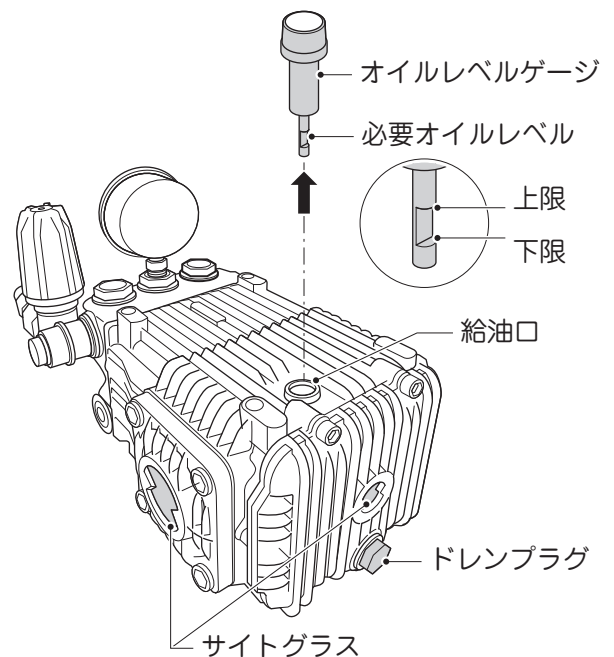
- 作業終了直後は、保守・点検を行わないでください。高温になっており火傷をするおそれがあります。
- エンジンオイル交換やエアクリーナ・点火プラグのメンテナンスなど、エンジンに関する保守・点検は、付属のエンジン取扱説明書に従ってください。
- エンジンオイルが汚れていたり、少なかったり、品質の悪いオイルを使用するとエンジンの寿命が短くなるおそれがあります。
常に良質できれいなオイルを規定量保つように心がけてください。

※ 何か異常がある場合にはお買上げの販売店や弊社支店、営業所まで連絡をお願いします。

エンジンオイル 交換時期	1回目	運転 20 時間後
	2回目以降	運転 50 時間後
オイルの種類		サイクルエンジンオイル SAE-10W30 または SAE30 番のいずれかのグレード
オイルの量		約 0.6L

ポンプオイルの点検

- 作業終了直後は、保守・点検を行わないでください。
高温になっており火傷をするおそれがあります。
 - ポンプのオイルレベルゲージでオイルの色を確認してください。
白濁・変色している場合は、交換時期に達していなくてもポンプオイルを交換してください。
 - ポンプの下にオイル受けを用意し、ポンプ下側のドレンプラグを取り外してポンプオイルを抜いてください。
 - オイルが抜けましたら、ドレンプラグを確実に締め、給油口からオイルを入れてください。
 - サイトグラスを確認し、サイトグラス中央までポンプオイルを給油してください。
- ※ オイル交換の時期、オイルの種類は下表に従ってください。
- 確認後は、ディップスティックをしっかりと閉めてください。



ポンプオイル 交換時期	1回目	運転 50 時間後
	2回目以降	運転 200 時間後
オイルの種類		サイクルエンジンオイル SAE-10W30 または SAE30 番のいずれかのグレード
オイルの量		約 0.4L

ストレーナおよびラインストレーナの点検

- 本機には、水の中に含まれているゴミなどを取り除くために、吸水ホースのストレーナを設けています。

ストレーナが詰まると下記のような症状が発生しますので、定期的に点検し、清掃してください。

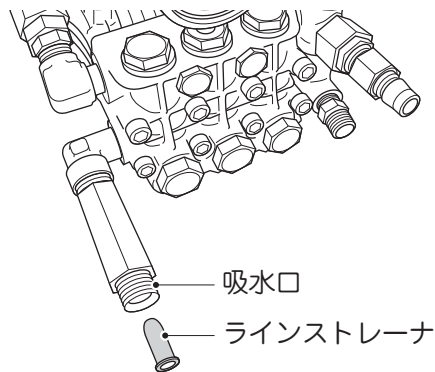
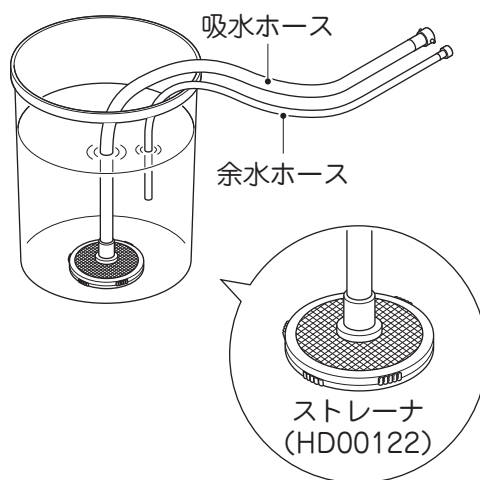
- ・まったく吸水しない。または、断続的に吸水している。
- ・高圧ホースが異常に振動する。
- ・圧力が規定値まで上昇しない。または安定しない。

- 点検・清掃はストレーナの金網を損傷させないように慎重におこなってください。

万一損傷がある場合は、必ず新品と交換してください。

- 長期間（1ヶ月以上）使用しなかった場合は、使用前にストレーナを清掃・点検してください。

- 本機は、吸水ホースのストレーナのほかに、ポンプの吸水にラインストレーナを装備しています。これは、より細かいゴミなどの異物を取り除くためのもので、時々点検、清掃を実施してください。



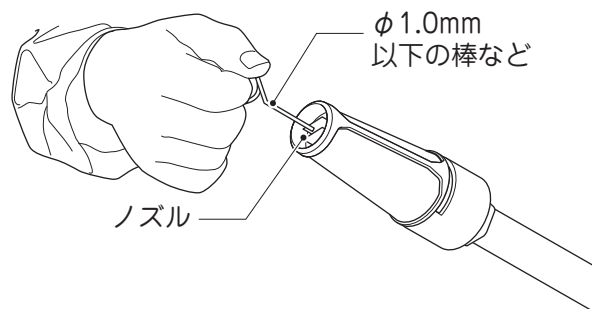
Oリングφ10.82×1.78
(HD20121)

ラインフィルタ 1/2"SUS
(HD21008)

※上記、ラインストレーナはラインフィルタとOリングで構成されていますので、交換時は一緒に交換してください。

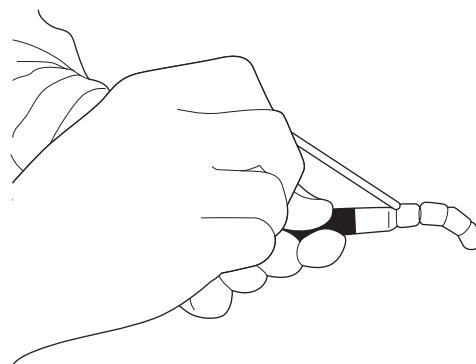
ノズルの清掃

- 全く水が噴射されない、噴射量が少ない、圧力が異常に高いまたは低い、真っ直ぐ噴射されないなどの症状はノズルの詰まりが予想されます。
 - ノズルは消耗品です。他の部品に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの交換が必要と考えられます。交換頻度は、使用時間、水道水のミネラル類の含有物によって異なりますが、およそ圧力が規定値の85%以下になったら交換が必要です。
 - 下記に従ってノズルを清掃してください。
- ① エンジンはず必ず停止させ、水が出ない状態でおこなってください。
 - ② トリガーガンからバリアブルランスを取り外します。
 - ③ ノズル穴にφ 1.0mm以下の棒などを差し込んで、回しながら詰まりを取り除いてください。
 - ④ ノズル先端部から水などを流し込んで、完全に異物を取り除いてください。
 - ⑤ 再度組み付けて、圧力に異常がないことを確認してください。
 - ⑥ 上記作業を行っても不具合が解消されない場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



洗管ホースのノズルの清掃

- ① エンジンはず必ず停止させ、水が出ない状態でおこなってください。
- ② ねじ式洗管ホースの場合は、洗管ホースからノズルを外してください。
- ③ ノズル穴にφ 0.9mm以下の棒などを挿し込んで、回しながら詰まりを取り除いてください。
ノズルを棒で掃除しても詰まりが取れない場合や、ノズルを交換する場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所まで連絡をお願いします。
- ④ ノズルは、消耗品です。
他の部分に異常がなく、圧力が低い場合はノズルの消耗による交換が必要と考えられますので、交換作業を実施してください。
交換頻度は、水道のミネラル類の含有量によって異なりますが、おおよそ既定圧力より85%以下になりましたら交換が必要です。



その他の点検作業

- 高圧ホースの損傷、接続部の緩みなどを常に点検してください。
また、必要に応じて新品と交換、またはお買い上げになった販売店などにご連絡してください。
- 高圧ホースやトリガーガンなどの接続部分に組み込まれている O リングやバックアップリングに損傷がないことを確認してください。

修理・サービスを依頼される前に

- 高圧洗浄機の調子が悪いときは、修理・サービスを依頼される前に、次の順序で点検を行ってください。点検された上で、なお異常のある場合や不安定な箇所がありましたら、そのままの状態にして、お買い上げの販売店または弊社営業所へご相談ください。

状 況	原 因	処 置
吸水しにくい。 吸水しない。	吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。	ストレーナを完全に水中に沈める。 清水を補給する。
	ストレーナの目詰まり。	ストレーナを清掃する。
	吸込み揚程が大きすぎる。	吸込み揚程を 2m 以内にする。
	吸水ホースの接続不良。	ホースの接続を確実にする。 パッキンを確認する。
	吸水ホースの損傷。	吸水ホースを交換する。
	吸水・吐出バルブの作動不良。 ゴミの詰まり。	バルブの点検・清掃を行い、必要ならば交換する。
圧力が上がらない。	ストレーナの目詰まり。	ストレーナを清掃する。
	吸水ホースの接続不良。	ホースの接続を確実にする。 パッキンを確認する。
	吸水・吐出バルブの作動不良。 ゴミの詰まり。	バルブの点検・清掃を行い、必要ならば交換する。
	プランジャパッキンの損傷。	プランジャパッキンを交換する。
	不適切なガン、ノズルを使用。	適切なガン、ノズルを使用する。
	ノズル穴の磨耗。	ノズルを交換する。
	圧力調整の不良。	圧力調整を行う。
圧力が安定しない。	吸水ホースのストレーナが完全に水中に沈んでいない。	ストレーナを完全に水中に沈める。 清水を補給する。
	ストレーナの目詰まり。	ストレーナを清掃する。
	吸水ホースの接続不良。	ホースの接続を確実にする。 パッキンを確認する。
	吸水・吐出バルブの作動不良。 ゴミの詰まり。	バルブの点検・清掃を行い、必要ならば交換する。
エンジンが始動しない。	エンジン取扱説明書を参照してください。	

HIGH PRESSURE CLEANER

12/80G • GP • GA
13/150G • GA

高压洗净機

12/80G・GP・GA
13/150G・GA

HIGH PRESSURE CLEANER

**12/80G • GP • GA
13/150G • GA**

●お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
お問合せや部品のご用命の際にお役に立ちます。

製造番号：

購入年月日： 年 月 日

お買い求めの販売店

Asada アサダ株式会社

本 社 / 名古屋市北区上飯田西町3-60 TEL (052) 911-7165 E-mail: sales@asada.co.jp

製品の使用方法に関するお問合せは

☎ 0120-114510 (イシゴト)

(受付時間) 9:00-12:00 / 13:00-17:00 (土・日・祝日は除く)

支 店 / 東京・名古屋・大阪
営業所 / 札幌・仙台・さいたま・横浜
広島・福岡

海外事業所

アサダ・タイランド社 (バンコク)	アサダ・インド社 (ムンバイ)
台湾浅田股份有限公司 (台北)	上海浅田進出口有限公司 (上海)
アサダ・ベトナム社 (ホーチミン)	アサダ USA (カリフォルニア州)

工場

犬山工場 (愛知県・犬山市)
アサダ第一精工株式会社 (松山市)
アサダ・マシンリー社 (バンコク)

www.asada.co.jp

Ver.03 コード No. IM0476